発行者
秋田県立
仁賀保高等学校
同窓会事務局
TEL(0184)43-4791
URL http://nikahokoukou dousou.web.fc2.com/

同窓会報に寄せて

同窓会長　佐藤正樹（4期）

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。今年も新たに同窓生として皆さんを迎えたことを大変うれしく思います。進学する方や就職する方と今後の道はそれぞれ違いますが、社会に出たスタート地点として母校での卒業式を人生の様々なタイミングで思い出し、励みにしてほしいと思っております。これからの皆さんの人生では様々な困難や試練、挫折しそうになる場面や進路を修正する場面が出てくると思います。そんなときに母校で学んだことや、学習、クラブ活動で困難に耐えて成し遂げたことを思い出し、今後の人生の糧になる事を切に望みます。

同窓会の新入会員の方々に同窓会活動の内容をお知らせしておこうと思います。

仁賀保高校同窓会は、昭和五十五年の第一期生の卒業と同時に発足しました。仁賀保高校の発展のために卒業生が協力することを目的にし、卒業生は卒業と同時に同窓会に入会するようになっております。同窓会入会式を終えておりますので皆さんも立派な同窓会会員ということになります。同窓会の行事として、年一回の総会を毎年開催しておりますが、毎年なかなか人数が集まらず同窓会に関わる先生方からは叱咤激励を受けておりました。昨年より堅苦しくないよう余興を取り入れるなどして少しでも参加しやすいよう試みを行っております。徐々に参加者も増えている状況ですので皆さんもぜひ参加していただけるようお願いいたします。数年後には仁賀保高校も創立四十周年を迎える時期になります。セレモニー等行うことになると思いますがその際には沢山の同窓会員の協力が必要になります。心の片隅に仁賀保高校の同窓会員だということを覚えておいていただき、いざ結束が必要な時はお力を貸していただけることをお願いいたします。

同窓会役員名簿

自 平成24年4月1日　至 平成26年3月31日

No.	役職	期	氏名
1	会長	4	佐藤正樹
2	副会長	4	亀山純
3	副会長	5	金春彦
4	会計監査	1	新美誠
5	会計監査	21	伊藤弘美
6	会計監査	29	佐々木宇宙
7	理事	1	佐藤豊
8	理事	1	鎌田陽子
9	理事	2	今野まり子
10	理事	8	森剛
11	幹事	8	佐藤美生
12	幹事	26	佐藤洋
13	幹事	33	金木勇志
14	幹事	33	佐藤栄治郎
15	幹事	33	佐々木慶太
16	幹事	33	太田友貴
17	幹事	34	佐々木唯人
18	幹事	34	土井瑞菜
19	幹事	34	土井昌平
20	幹事	34	森春菜
21	顧問	1	金子富士夫
22	顧問		夏目由美子
23	教頭		和田央
24	事務長		鹿角岳雄
25	事務主査	4	佐藤幸二
26	校内幹事		大石史子
27	校内幹事		簾内亜里紗

第35期代表幹事

3A　今野夢希　3B　佐藤和樹
3C　佐藤裕太　3D　須藤虹太

卒業生だより

目標に向かって

33期　金彩佳

仁賀保高校を卒業して、福祉について学ぶために仙台の大学に通っています。福祉というとほとんどの人が介護職と思いがちですが、福祉を支えている機関はたくさんあります。その中で私が目指しているのは社会福祉士と精神保健福祉士です。

私は高校時代に進路を決めなければならない時期までやりたいこともあやふやで、はっきりとした目標がありませんでした。それでも人と関わることが好きということ、人を支えたいという気持ちがあること、その職業として社会福祉士があることを知りました。また、ある本を読んで精神領域に興味を持ったのが精神保健福祉士を目指したきっかけです。

大学入学当初は、当たり前ですが周りに知っている人もいなく、慣れるまでに時間がかかりました。しかし、同じ目標を持っている仲間達、同じ県外から来た仲間達がいて不安を共有し合えることができ、気持ちも楽になりました。私の通っている大学は専門職育成をしていること、また自分は国家資格を二つ目指していることで授業や実習が大変ですが、自分の将来の目標であることですし、何よりも同じ仲間達がいることが頑張ろうと思える励みになっています。

県外から仙台に来て、人との出会いは大切だなと思うようになりました。自分が充実して過ごしていることも、楽しく過ごせているのも、周りの人との出会いがあったからだと思っています。そして何よりもこの環境を作ってくれた家族に感謝しています。県外の大学に通うことは簡単なことではないのでこの機会を無駄にしないように残りの二年間、過ごしたいです。家族に恩返しができる日までがんばっていきたいです。

今の時代は資格が必要だとよく耳にします。資格同様、自分のやりたいことをやるのも大事だと思います。目標を見つけて、達成できるようにお互いに頑張りましょう。

未来を見失わずに

34期　木内華子

高校卒業後、山形大学地域教育文化学部に通い、教育について学んでいます。一年生のうちは、幅広い教養をつけるための科目を中心に学んでおり、教育についての専門的な講議はあまり受けることができません。その点では短期大学に進学し、より専門的な知識を身につけ、早くも実習などで実際に子どもたちと触れ合っている友人たちをうらやましく思うこともあります。また、社会の一員として立派に会社に勤めている友人を見て、みんなが先に大人になってしまったような気さえします。

卒業後に高校時代の友人と会うのは、とても良い刺激になります。特に今の自分と違う状況で頑張っている人の近況を聞くことは、今の自分の怠惰さを打ち砕くには最適でしょう。仁賀保高校は四年制大学、短期大学、専門学校、就職、公務員など生徒の卒業後の進路が多様なので、様々な話が聞けると思います。あなたの親友は卒業後、何をしているのでしょう。どんなことに情熱を注いでいるのでしょう。忙しいのを言い訳にして、ただ同じ毎日を繰り返しているだけではありませんか？そんな問いが心の中で響いてくるようです。

もし、あなたが進学先や就職先でくじけそうになったら一度友人に連絡をとってみてはいかがでしょう。その人は仁賀保高校の誇りを背負ってひたすらまっすぐに生きているかもしれません。私も負けずに頑張らなくては！とそう思えるかもしれません。

でも、そんな友人を見て、私だけが上手くいっていない、と落ち込まないで。あなたが友人を見て頑張っているなと感じるように、その友人にとってあなたは、困難にも一生懸命立ち向かう誇らしい友に見えているはずですよ。